

冬にお薦めの本



本宿中学校図書館 2021・12月

NDC	『書名』	著者名(監修者)	出版社	内容
933 く	『オリエント急行殺人事件』	A・クリスティ	早川文庫	真冬の欧州を走る豪華列車オリエント急行で、老富豪が無残な姿で発見される。偶然列車に乗り合わせた名探偵ポアロが、調査に乗り出す。
933 き	『ナルニア国物語』 1～6巻	C・S・ルイス 瀬田貞二/訳	岩波書店 または 光文社文庫	戦争をさげ、田舎の古い屋敷にやってきた4人の兄弟。広い屋敷を探検するうちに、末っ子のルーシィは、空き部屋の洋服ダンスに入り込んでしまった。ダンスの奥には雪の降り積もる森があり…。
943 け	『飛ぶ教室』	E・ケストナー 池内紀/訳	新潮文庫	まもなくクリスマス。寄宿学校の少年たちは波乱万丈のクリスマス劇「飛ぶ教室」の稽古にはげんでいるのですが…。
913 ひ	『ナミヤ雑貨店の奇跡』	東野圭吾	集英社文庫	悪事を働いた3人の少年が、とある廃屋に逃げ込みます。そこはかつて、さまざまな人の悩み相談を請け負っていた雑貨店でした。
913 お	『ミトン』	小川糸	白泉社	昔ながらの暮らしを守る小国ルップマイゼで生まれた女性の、慎ましく暖かな生涯を描いた物語。手仕事の喜びや精神が伝わります。
913	『ラストで君はまさか！と言う』 冬の物語		PHP 研究所	4人の作家が執筆したショートストーリー集。春、夏、秋、冬のバージョンがあり、これは冬編です。
913 み	『ソロモンの偽証』 1～3巻	宮部みゆき	新潮社	映画化、ドラマ化が何度かされている、中学校が舞台の長編推理小説。1冊700ページもありますが、読破してほしいです。
913 も	『夜行』	森見登美彦	小学館文庫	十年前、同じ英会話スクールに通う6人の仲間は鞍馬の火祭を見に行った。その夜、長谷川さんは姿を消した。ファンタジー作品が多い作家ですが、これはホラー色が強い作品です。
914 い	『雪は天からの手紙』 中谷宇吉朗エッセイ集	池内了	岩波文庫	雪の結晶の美しさに魅せられた物理学者・中谷宇吉郎のエッセイ。彼は1930年に北海道大学に赴任したあと、1962年に亡くなるまで、雪や氷の研究をしてきた人です。
451 か	『雪の結晶ノート』(絵本)	M・カッシーノ、 J・ネルソン 千葉茂樹/訳	あすなる書房	小さな雪の結晶、なぜこんなに美しく、複雑な形をしているのでしょうか？水と空気の織り成す自然の芸術。その神秘を解き明かす本です。
451	『気温が1度上がると、どうなるの？』 気候変動のしくみ	K・S・シュライバー /文 S・マリアン/絵 松永美穂/訳	西村書店	今秋、COP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議)が行われたことは記憶に新しいと思います。この本は多くのイラストと共に気候変動のしくみを、幅広く紹介しています。
443 せ	『星と星座の伝説』 冬	瀬川昌男	小峰書店	冬といえば、オリオン座。オリオンは、狩りの名人と言われた美しい若者なのですが、悲しい物語があるのです。
596 お	『イベントのお菓子』 手づくりレシピ4巻	大森いく子	ポプラ社	誕生日・クリスマス・バレンタインデーに、手づくりのお菓子を作ってみては？
386 ち	『サンタクロースっているの？』(絵本)	F・P・チャーチ (NY・サン社説) いもとよこ/絵と訳	金の星社	図書館のクリスマスイベントでサイモン先生に読んでいただく本です。1897年、ニューヨークの新聞に8歳の女の子が送った手紙のお話です。
911 ひ	百人一首 人物事典	渡辺泰明	金の星社	百人一首の本の特集は毎年図書館内に展示しています。今年度も展示中です。この本もその中の一冊です。

☆他にも新しい本が入荷しています。開館している日をチェックして、図書館に来てくださいね！